



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては希望に満ちあふれた新しい年をお迎えのことと思います。今回で4回目となるインターナショナルレポートも発行を始めてから丸1年が経ち、2年目を迎えることとなりました。本年もよろしくお祈りいたします。

## というわけで今回のテーマは“お正月”です。

日本のお正月は、家族みんなで過ごすのが定番ですよね。人それぞれの過ごし方でクリスマスを切り抜けたあとは、雰囲気がガラッと変わって年末年始の準備に大忙し。大掃除をしたりおせちを作ったり、親族にあげるお年玉を財布と相談したり・・・。交通機関はパンク寸前、高速道路は大渋滞、まさに日本の風物詩の一つです。



ところが欧米ではむしろクリスマスの方が、家族と過ごす大切な日だったりします。また東アジアではお正月は旧暦でお祝いする国も少なくありません。このように新年の過ごし方についても国によってずいぶん違います。そういった違いを知り、異なる文化に思いを馳せるのも楽しいものです。

それではここで、旧暦のお正月、「旧正月」について少しご紹介させていただきます。

### —そもそも旧正月って?—

現在のグレゴリオ暦が使われる前、東アジアで利用されていた中国暦の1月のことです。中国や韓国では現行の暦の新年よりも、旧暦のお正月を盛大に祝います。ご存知の方も多いかと思いますが、今の暦で見ると旧正月の日付は年によって違います。

### —旧正月の日付はどうやって決まるの?—

旧暦の1月1日は、「二十四節気」における「雨水」の直前にある朔日」となります。詳しい説明は省略しますが、簡単に言うと“今の暦の2月18・19日(年によって違う)の直前にある新月の日」となります。今年は2月3日がそれにあたります。興味のある方は是非「中国暦」や「二十四節気」についても調べてみてください。

## ～外国のお正月の風景～

さて、他の国では一体どのようなお正月を過ごしているのでしょうか。つくば市で在住外国人向け相談業務を担当しているらっしゃる外国人生活相談員の方々に、故郷のお正月について語っていただきました!

### タイのお正月

文：石塚アチャラ

สวัสดีปีใหม่ (サ・ワッ・デー・ピー・マイ・カ=新年明けましておめでとうございます)



名称：タイ王国  
人口：約6600万人  
首都：バンコク

タイのお正月は、現在西暦に合わせ1月1日とされています。しかし、昔は4月13日から15日までの3日間がタイのお正月でした。現在、この3日間は国民の祝日になり、商店や会社は休みとなり、人々は帰郷して家族と共に旧正月(ここでの旧正月とは、上記の中国暦の旧正月とは違います)をお祝いします。

タイの旧正月行事として有名なのが、チェンマイ地方を中心とした「テーサーカーンソングラーン」と呼ばれる「水掛け祭り」です。このお祭りはタイの仏教行事一つであり、仏像や仏塔に人々が聖水を掛けて新年を祝います。また、家庭では年少者が年長者の手に少量の聖水を掛けて敬意を表します。さらに寺院や路上においては、年間で最も暑くて(平均最高気温40℃)雨の降らないこの時期に人々は、水を掛け合うことによって、その行為の中に雨乞いの意味を込めました。近年ではその他に、水鉄砲やバケツ、さらにはミニトラックにタンク一杯の水を積んで車上からお互いに水を掛け合う風景が見られるようになりました。そのため、タイではこの時期が最も交通事故が多くなります。

タイには、日本のおせち料理に当たる特別なお正月料理はありません。「水かけ祭り」の時期は猛暑が続く時期であるために一般に冷たい料理が好まれます。例えば、「カオチャー」と呼ばれるジャスミン米を冷水に浸し、「ルークカピトード」と呼ばれる「甘辛く味付けされたエビみそ揚げ団子」をおかずとして食べる料理は、この時期タイ人が好んで食べる料理です。

これが日本とは違った、暑い仏教の国タイのお正月風景です。

## 韓国のお正月

文：佐竹仁南

「セヘ ポック マニ バドゥッセヨ！」

新年福をたくさん貰ってくださいの意味で新年の挨拶の言葉です。

今回は私の生まれ育った韓国のお正月について少しお話をしましょう。といっても時代はずいぶんと変わり、伝統の遊びや風習もだんだん消えて変わってきました。韓国での行事は今も旧暦で行うことが多いです。代表的なのがお正月と秋夕（日本のお盆に当たる陰暦で8月15日）でもっとも盛大に行います。もちろん旧暦ですので毎年日付が一定ではありません。ちなみに今年のお正月は2月3日になります。さて、どんなことをするのでしょうか。

まず、「大晦日に寝ると眉毛が白くなる」と言われ、子供心にそのことを信じて絶対寝るまい！と頑張った記憶があります。しかしその頑張りも虚しくつい寝てしまい、朝目を覚ますと本当に眉毛が真っ白になっていて泣いたこともあります。もちろん、家族の誰かが私が寝ている間に小麦粉でいたずらをしたわけです。

お正月の朝は新しい服に着替え祭祀を行います。「韓服」という民族衣装を着る人が多いです。幼い時はこの日のために新しい服を買ってもらえるので待ち遠しい日でもありました。朝食をとる前に、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんと、つまり目上の人に挨拶をします。「セペ」といって韓国特有の挨拶をします。目上の人に感謝の気持ちを表現し健康を祈る意味があり、また目上の人たちはそのお礼に相手の願い事が叶いますようにといいながらお金を渡します。日本のお年玉に当たりますがきちんと「セペ」をしないともらえません。

挨拶が終わった後にお母さんが何日も前から作ってあるご馳走と、「トック」（お雑煮）をたべます。新年の挨拶をするために訪れたお客さんにも必ずこのトックを準備します。お米で作った丸いお餅をスライスしたもので、トックには地方によって餃子を入れたり多少違いがありますが、基本的には肉汁のだしをとって作るのが一般的です。そして錦糸卵（白身も同じく作ります）と肉、他の野菜で鮮やかにトッピングをします。食事が終わった後は家族とゲームなどでゆっくり過ごし、午後から親戚や知人の所に出かけます。

初夢として望んでいるのはやはり“豚の夢”です。豚はとても縁起がいいもので、‘お金持ちになる’とか‘金がたくさん入ってくる’などで『富』の象徴です。貯金箱も豚の形が定番になっていることは言うまでもありません。皆さんに今年は“豚の夢”がたくさん見られますように祈ります。

## 今年も良い一年でありますように♪

### ☆ お知らせ ☆

6月11日（土）、つくば市ノバホールで“第52回外国人による日本語弁論大会”が開催されます。事前審査により選ばれた12名の外国人の方々が、日本の社会や文化について感じたこと・思ったことを日本語でスピーチします。入場は無料ですので、興味をお持ちの方は是非ご家族ご友人お誘い合わせのうえ、観覧にお越しください。

日時：2011年6月11日（土曜日） 午後1時開始

場所：ノバホール〔つくば市吾妻1-10-1〕

主催：財団法人国際教育振興会 国際交流基金 つくば市

また、出場希望者も募集中（締切4月14日）です。お知り合いで「この人は絶対出場するべきだ！」という方がいらっしゃれば、是非出場を勧めてみてください。詳しくは国際教育振興会のHP (<http://www.iec-nichibei.or.jp/>) をご覧ください。

### ☆ つくば市の外国人登録者数 ☆

2010年12月28日現在、つくば市の外国人登録者数は7,867人です。常住人口が約21万6千人なので、約3.6%の方が外国人住民ということになります。これは全国平均のおよそ2倍の割合になります。国で見ると124カ国もの様々な国籍の方々が住んでいます。これは、それだけ多くの異なる文化に触れる機会があるということでもあります。身近にそういった機会があったときには是非積極的に関わって、多文化共生への理解を深めていただければと思います。



名称：大韓民国  
人口：約4800万人  
首都：ソウル



昨年の第51回大会の様子（新潟市）

国籍別人口	2010/12/28現在
中国	3,016
韓国・朝鮮	1,218
フィリピン	354
ブラジル	324
タイ	305
インド	268
米 国	176
：	：
：	：
合 計	7,867
	(人)